

平成20年度 広島市立広島特別支援学校 第1回学校協力者会議概要

1 日 時 平成20年7月22日(火) (10:00~12:00)

2 場 所 校長室

3 内 容

- (1) 学校長あいさつ
- (2) 配布資料・運営規定について
- (3) 委員・学校事務局員紹介
- (4) 委員長・副委員長の選出 所属部会の決定、部長の選出
- (5) 委員長あいさつ
- (6) 議事

学校の現状についての説明(菅方教頭より)

移転開校について(嶽野校長より)

質疑応答・提言

情報公開について

個別の教育支援計画等のホームページ上での公開が分かりにくい。

- A 高等部は個別の教育支援計画を個別の移行支援計画でまとめており、ホームページで公開してあるが、どこにある分かりにくいようだ。ホームページの構成についての見直しが必要と考えている。個別の指導計画のホームページへの掲載については本年度の学校経営計画の努力指標の中に掲げてある。

Webに関して

- ・ 機能として更新性も必要だが蓄積性の機能も重要である。
- ・ 作るほうからすれば期待が大きいが見てもらえるような工夫が必要。
- ・ 関係者だけ見ることのできるコーナーを作る方法もある。それにはパスワードを活用するとよい。

多様化する児童生徒のニーズへの対応について

他都市では単独の高等特別支援学校、小中高の特別支援学校がうまく調和して機能しているところがあると聞いている。ニーズの多様化から広島市としてもニーズをうまく反映できることが必要なのでは?将来の展望があれば聞かせていただきたい。

- A 広島市の計画では高等部単独校は考えられていないと聞いている。現在、本校の高等部は教室数のこともあり、様々な発達段階の生徒が入り混じったクラス編制となっている。移転開校後は必要な教室数も確保でき、多様な学習集団の編制が可能となる。また、今後はコース制・類型・学科等も考えていく必要があると思われる。

一般の高校では進路を考え、進学コースや就労コース等と分かれているのが当然であるが本校では様々な進路の生徒が入り混じったクラス編制となっている。生徒の進路から考えて、必要なニーズに応じたクラス編制をお願いしたい。

特別支援学校間の役割、通学区域等については県と連携をとりながら進めていっていただきたい。

学校経営計画について

地域の視点

本校における「地域」の定義を明確にしておいたほうがよいのではないかと
思う。

評価という視点から

領域の中で「学力の向上」と「専門性の向上」は生徒からの視点と教員からの視点という面で違うが内容は表裏一体であり、評価する際に留意する必要がある。

(7) 委員長あいさつ

(8) 学校長あいさつ